

□オリンピック・パラリンピック等の効果を大阪の成長に活かす

- ① 海外から訪れる人々が安心して移動し、滞在し、楽しめる環境整備
滞在中の移動をサポートする多言語に対応した案内・情報発信の強化、観光スポット、商業施設、飲食店等におけるおもてなしの強化（メニュー表示、商品説明、免税カウンター、特典・サービス、商品海外発送etc.）、宿泊施設の拡充、観光タクシーや周遊バスなど府内や関西の観光スポット等を周遊できる仕組づくりなどの施策に取り組む必要がある。
- ② 次代のスポーツ界を担う人材の輩出及びオリンピック・パラリンピックの盛り上げ
オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップの事前合宿や国際試合の誘致、オリンピック・パラリンピックの聖火リレーを通じた機運盛り上げと地域の活性化、大阪出身のアスリート等と連携した機運醸成など、効果的な施策を講じていく必要がある。
- ③ スポーツや文化等をテーマに多様な人材がグローバルに活躍できる状況の創出
スポーツや文化をテーマとした国際交流、都市魅力活動の担い手（まちづくり団体、観光ボランティア、企業等）が自主的に全国及び世界各地の人々と交流する様々な民間主体のグローバルネットワークづくり、世界からクリエイティブな人々（アーティスト、デザイナー、建築家、クリエイター等）が集い文化・芸術活動に取り組める環境づくりを促進する必要がある。
- ④ スポーツのポテンシャルを活かした観光集客
スポーツイベントを含むMICEの誘致・開催促進、大阪の特色ある文化や府内の多彩な観光魅力を体感してもらえるプログラムの創出、大規模なスポーツイベントやプロスポーツなどを活かしスポーツツーリズムの推進につながる施策展開が必要である。
- ⑤ スポーツや観光等の成長産業化に向けた取組
機能性の高い大阪製のスポーツ用品・スポーツウェア等の開発・販路開拓、スポーツと他の分野（健康づくり、食、教育、クールジャパン、福利厚生、障がい者福祉etc.）を融合した新しいビジネスやサービスの創出が求められる。

□世界の都市間競争に打勝つ基盤づくり

- ① 世界第一級の文化観光拠点の形成
大阪市内の重点エリアにおける取組みや、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録実現、さらには、統合型リゾートなどの新たな文化・観光拠点づくりに、引き続き取り組んでいかなければならない。併せて、観光地や防災拠点等における無料公衆無線LAN環境の整備促進、民間資金やノウハウを活かした国際競争力のある都市魅力・観光拠点づくりを促進していく必要がある。
- ② 世界に通用する魅力ある観光地域づくり
世界が注目する伝統文化、芸術、音楽、演劇等の情報発信の強化、世界で活躍するアーティストと連携した大阪の海外プロモーション・魅力発信、大阪で活躍する外国人アーティストと連携した国内外への大阪の魅力発信などの施策を展開していく必要がある。
- ③ 地域経済につながる取組の創出
歴史やテーマ等で魅力スポットを結んだクールジャパンを満喫いただける広域観光ルートの創出・発信、桜や紅葉等の人気の高いコンテンツに加え、伝統的な祭りや世界が注目する和食を核とした海外への魅力プロモーションの強化及び観光商品の創出など、効果的な取組みを打出していく必要がある。
- ④ 訪日外国人観光客向けの積極的なプロモーション
大阪湾ベイエリアにおけるクルーズ客船等による観光集客の促進、エンターテインメント、ファッション、デザイン、アニメ、食、流通、農業、文化、IT等、様々な業界におけるインバウンド推進の担い手の拡大と新たなビジネスの創出、海外に訴求するモノやサービスを提供する事業者のブランド力・マーケティング戦略を結集した戦略的なプロモーション展開による海外からの誘客促進など、即効性のある取組みを進めていく必要がある。
- ⑤ 国際人材の育成・確保
大阪の若者を世界で活躍しうるグローバル人材として育成・輩出する取組みを通じた人的基盤を構築していくことや、留学生などの外国人材が持っている知識や技能を大阪で発揮できるよう受入環境を整備していく必要がある。また大阪が有するネットワークを活用し、大阪の魅力を海外に発信していくことも重要である。

□大阪府域全体の活性化

- ① まちの魅力に触れる機会の創出
道の駅や商店街等での地元製品の販売促進と周辺観光施設等との連携促進、地元名物の開発・販路開拓の推進、地域資源を活用して消費者を呼び込むツーリズムの促進など、まちの魅力を最大限活かした取組みを図っていくことが肝要である。
- ② まちのファン獲得に向けた取組み
府民をはじめ大阪に暮らす人々自身が地元・大阪の魅力を内外に発信する取組みの促進、地域の魅力づくり活動や観光ボランティアの活動の推進、地域の発意による景観形成や特色あるまちづくりの推進、内外からの観光客を温かく地域に迎え入れおもてなしする取組みの推進、若者や大阪に滞在する外国人等による世界に向けた大阪の魅力発信の推進につながる施策などを講じていく必要がある。
- ③ 訪日外国人観光客の適切な受入環境の充実
外国人富裕層を対象に、観光目的による滞在期間が最長1年とされるビザ要件の緩和などを見据えながら、大阪における長期滞在に対応した受入環境整備の推進や、大阪に滞在しながら国内各地を観光する仕掛けづくりなどから、順次、取り組んで行くことが大切である。
- ④ 魅力資源を集客に結びつけた地域の活性化
魅力ある地域の歴史的な遺産の再評価と発信、歴史的なまちなみ再生や魅力創出活動のネットワーク化を図るとともに、桜や紅葉等の人気の高いコンテンツに加え、地域の祭りや伝統行事などその地域特有の魅力や、歴史やストーリー性で結びつけた多彩な魅力のプロモーション強化、海・山・川などの自然にふれあい、登山やハイキング、フィッシング、キャンプなど、多様な楽しみ方ができる環境の充実、大阪の歴史を感じ、次世代に受継いでいく歴史ウォークやまち歩きイベントの推進、質の高いスポーツ・文化・芸術に触れる機会の拡大など、その地域らしさを活かした取組みを着実に進めていくことが大切である。

□広域連携の促進

- ① 複数の市町村や地域団体等による地域連携
持続可能な都市魅力創造という観点から、地域資源を活用した集客促進・経済波及・雇用創出・新たな魅力創造の好循環を生み出す仕組みづくりや、若者が観光産業やまちの魅力づくり、文化・芸術活動などの分野で積極的に地域に関わりを持つことができる仕組みづくりが必要である。
- ② 府県域を越えた連携による観光集客
歴史的なまちなみ再生や魅力創出活動のネットワーク化、歴史やテーマ等で魅力スポットを結んだクールジャパンを満喫いただける広域観光ルートの創出・発信などにあたっては、市町村や地域団体等の連携を促進し、一体的な取組みとして広げていく必要がある。
- ③ 東京と並んで二極を担う大阪の他府県との広域的な観光施策連携
関西及び日本各地の伝統文化や四季折々の魅力を発信する機会の提供による大阪から各地への誘客促進や、観光タクシー・周遊バスといった府内や関西の観光スポット等を周遊できる仕組づくりを推進していくことが肝要である。さらに、関西圏はもとより、東京、名古屋といった大都市圏との連携、アジアの都市との連携なども視野に入れながら、世界中からヒト・モノ・投資を呼び込む、新たな価値創造を図っていくことも大切である。

□宿泊税を財源とした受入環境整備

- ① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進
観光客に大阪で安心かつ快適に楽しく滞在していただくことで、リピーターが増えていくといった好循環を生み出していくことが大切である。そのためには、多言語対応の強化や観光案内機能の充実、ホスピタリティの向上などの観光客受入のための基盤整備、府域における交通アクセスの改善、ムスリム対応など文化・生活習慣に配慮した対応、旅行者の安心安全の確保に努めていく必要がある。
- ② 魅力づくり・戦略的プロモーションの推進
リピーターを増やしていくためにも、魅力溢れる観光資源づくりを図るとともに、国内外から人を呼び込むプロモーションの推進や、観光マーケティングリサーチの強化、MICE誘致の推進など、ニーズに応じた効果的な誘客促進を図っていく必要がある。